

2017 年 6 月 14 日

スムーズな API 連携でデジタルビジネスを推進する

「API Gateway as a Service」の提供を開始

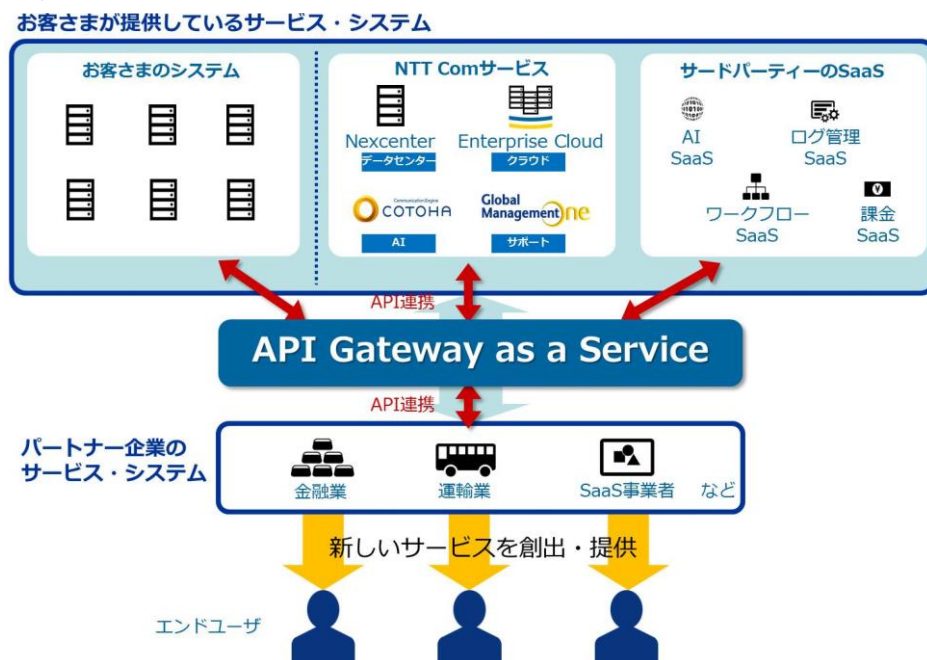
～外部との API 接続を容易にし、xTech ビジネス連携を加速～

NTT コミュニケーションズ(以下、NTT Com)は、複数のシステムで利用する API を統合管理し、外部との接続を支援する「API Gateway as a Service」を、2017 年 7 月より提供開始します。

本サービスは、API の認証や権限管理を一括で行うことができ、多数の API が存在する場合にも、その管理を効率化します。また、外部連携機能(API マッシュアップ)を標準で備えているため、他のサービスとの API 連携をスピーディーかつ容易に実現することができ、お客さまの新たなデジタルビジネスの創出を加速させます。

また本サービスは、運用自体をお任せいただく保守運用プランがセットになっているほか、API 公開に向けてのコンサルティングや導入支援プログラムなどもオプションとして提供します。

<サービス概要イメージ>



1. 背景

近年、金融や流通、農業や教育分野など、多種多様な業界で xTech (FinTech/RetailTech/AgriTech/EdTech など)と呼ばれる動きが注目されています。xTech とは、企業が内部に有していたビッグデータやシステムを API 化することによって外部に公開し、パートナーやエンドユーザーと共に新たなデジタルビジネスを創出する取り組みのことです。しかし企業経営におい

て、xTechを推進するためには、煩雑なAPIの認証や権限管理などへの対処が必須となります。

NTT Com は、2014 年より、企業のお客さま向けに「[NTT コミュニケーションズ API ゲートウェイ](#)(以下、API Gateway)」基盤を整備し、NTT Com が提供するサービスの API マネジメントや保守運用を行い、ノウハウを蓄積してきました。

NTT Com は、「API Gateway」の運用ノウハウを活用し、「API Gateway as a Service」の提供を開始します。

2. 特長

(1) ニーズの高い、きめ細かなマネジメント機能を網羅した API ゲートウェイ

異なるインターフェースの API を統一された仕様に変換したり、一括して認証したりといったベーシックな機能に加え、グループ単位でアクセス制御が可能な権限管理機能[別紙 1]、また DDoS 対策やマネジメントセキュリティサービスによる高度なセキュリティ対策機能を利用することができます。

提供機能の一覧については[別紙 2]を参照ください。

(2) 選べる IaaS 基盤と高品質な保守運用プランのセット提供で、お客さまの運用稼働を削減

IaaS 基盤は NTT Com の「Enterprise Cloud」および「Hybrid Cloud with Microsoft Azure」に対応しており(対応 IaaS は今後順次追加予定)、お客さまの既存環境と親和性の高い IaaS を選んでいただけます。また、「API Gateway」におけるノウハウを生かした、高品質な保守運用サポートがセットになっているため、お客さまは API マネジメント基盤の導入や環境整備・保守運用に稼働をかけることなく、デジタルビジネスの推進に専念することができます。

3. 提供メニューと料金

提供メニューについては[別紙 3]参照。

料金については、NTT Com 営業担当者までお問い合わせください。

4. 提供開始日

2017 年 7 月中旬

なお、2017 年 6 月 14 日・15 日に東京で開催される「[Google Cloud Next '17 in Tokyo](#)」において、NTT Com 担当者より本サービスの概要とロードマップについて講演します。

5. 今後の展開

NTT Com は、今後国内外の SaaS プロバイダーとの連携を強化し、課金機能や決済機能など、お客さまのデジタルビジネスに求められるバックエンド機能を、本サービスのオプションとしてご利用いただけるよう機能を拡充していきます。

加えて、お客さまが既にお使いのクラウド環境でもご利用いただけるよう、「API Gateway as a Service」の対象クラウドを順次追加していきます。第一弾として、株式会社エヌ・テ

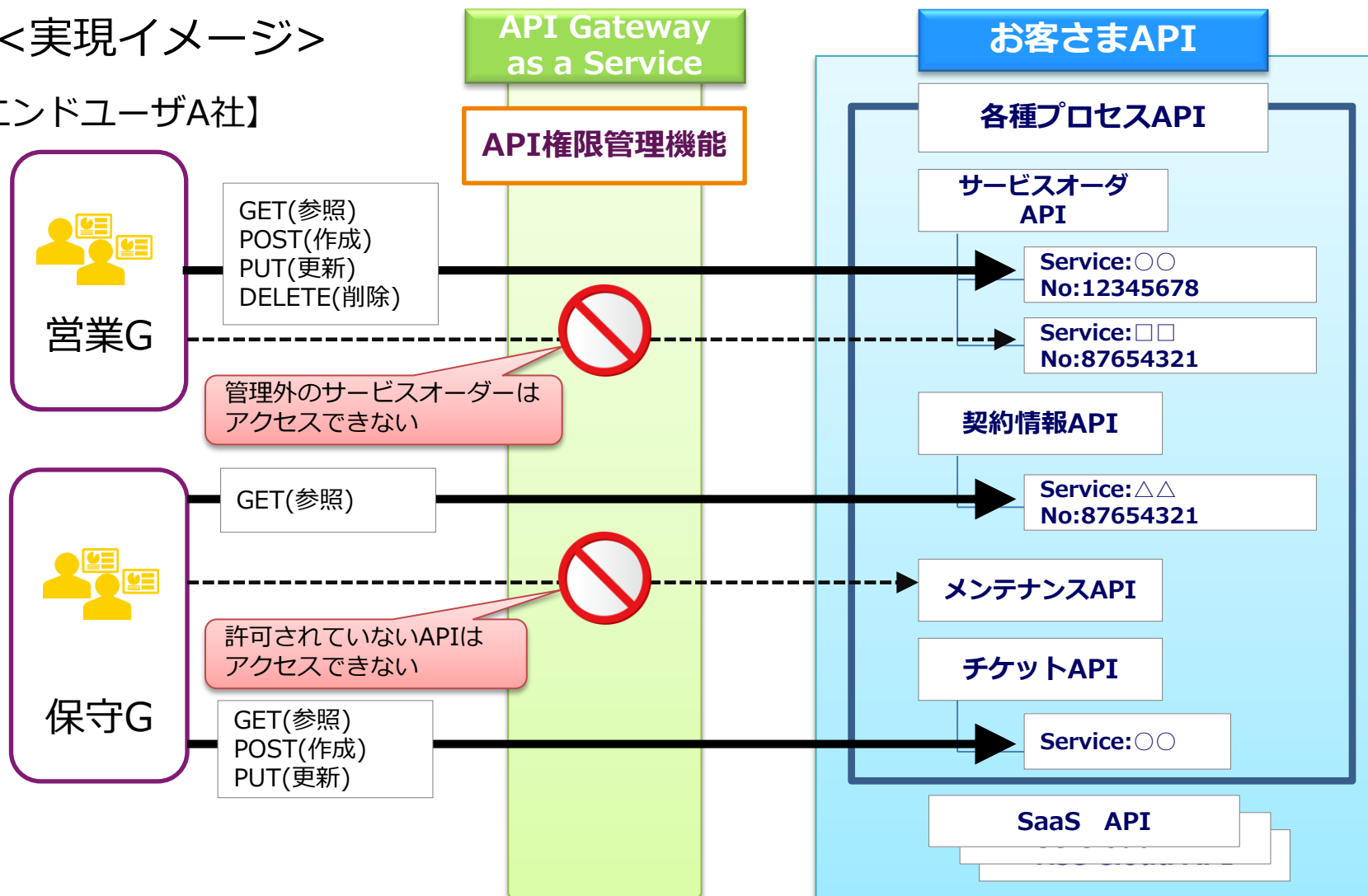
イ・ティ・データのクラウドサービスにおける利用に対応する予定です。

[別紙1] 「API Gateway as a Service」 権限管理機能

「API Gateway as a Service」の権限管理機能は、お客さまが作成したグループ単位で、きめ細かくAPIへのアクセス許可を設定することができます。

<実現イメージ>

【エンドユーザA社】



[別紙2] 「API Gateway as a Service」 APIゲートウェイ部分の提供機能一覧

機能		概要
1	API変換	APIによって異なる接続形式やデータ書式を統一して提供
2	API認証	API共通のアクセスキー／シークレットアクセスキーでAPI認証を実現
3	APIログ	APIログを各システム横断で一元的に管理
4	API流量制御	APIアクセスが短時間で集中した際の流量制御(API Call回数制限等)をシステム横断で導入し、システム連携の安定性を確保
5	APIセキュリティ	APIに特化したセキュリティ対策(API Callのデータ部分の解析※など)をシステム横断で導入し、システム間連携における安全性を確保
6	API権限管理	APIへの細かなアクセス権限設定を各システム横断で一元的に管理
7	APIマッシュアップ	お客さまの社内APIや社外のサービスAPIを簡単に連携できる仕組み
8	通知API(Webhook)	お客さまシステムで発生した各種イベントをリアルタイムで通知する仕組み
9	VPN接続	NTT ComのVPNやIP-SEC VPN網内で使用することで、よりセキュアにAPIを利用

※: WebにおけるSQLインジェクション攻撃の様に、APIデータ部分に不正なコマンドを紛れ込ませ実行する攻撃に対し、データ部分を解析する事で防御します。

[別紙3] 「API Gateway as a Service」 提供メニュー

「API Gateway as a Service」は、APIゲートウェイとIaaS、+M(保守運用)を各メニューから1つ選び、組み合わせてご利用いただくサービスです。

